



「そらあみ〈島巡り〉」

高見島、沙弥島など14の島の島民が思いを込めて編んだ「あみ」の連結式。

瀬戸内国際芸術祭2019(秋会期)は11月4日まで

9月定例会
9月2日～10月4日

主な内容

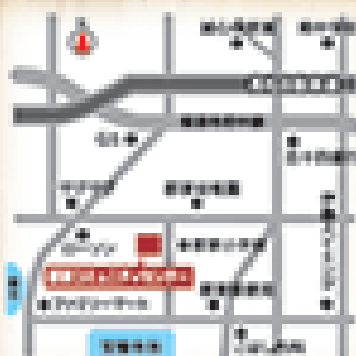
- 特集 議会報告会とは…………… 2
- 定例会・議案の内容…………… 4
- 一般質問…………… 6
- 委員会審査 …………… 14
- 質疑・討論 …………… 15
- 決算委員会審査 …………… 16
- 委員会視察報告 …………… 18
- こちら編集室・編集後記 …… 20

11月7日(木) 13時30分～

郡家コミュニティセンター

テーマ

**市内公共交通の
あり方について**



11月8日(金) 19時～

丸亀市生涯学習センター 5F 小ホール

テーマ

**消防団活動に
ついて**



11月18日(月) 18時30分～

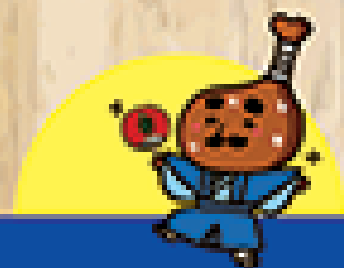
綾歌総合文化会館 アイレックス 小ホール

11月20日(水) 18時30分～

丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター) 4F 研修講座室

テーマ

**こども条例に
ついて**



意見交換会

議会報告会

主催／丸亀市議会

お問い合わせ先／丸亀市議会事務局 TEL0877-24-8828

議会報告会を開催します



市議会では過去9回にわたり、議会報告会を行ってきました。

報告会では、議会で審議した事項や議会活動の報告を行い、議会報告会終了後には、常任委員会ごとに定めたテーマについて、議員と参加者が話し合う意見交換会を開催しています。

昨年は、総務委員会が「若者の政治参加」をテーマに市内の高校に通う21人の高校生と、都市環境委員会は「新市民会館のあり方」について、文化・観光・商工など関係団体の方々と、また、教育民生委員会は「保育士確保について」を、保育士を目指す学生や現役保育士、子育て中の保護者の皆さんと話し合い、多くのご意見をいただきました。

参加に関する事前申し込みなどは一切不要ですので、お気軽にご参加ください。

議会報告会とは…

平成24年に制定された「議会基本条例」では、議会報告会を開催することが定められています。これは市議会が「開かれた議会」となることを目的としており、議会で審議した事項や議会活動の報告を行っています。

意見交換会とは…

議員が丸亀市にお住まいの皆さんと十分に意見を交わすことで、今何が求められているのか、今後何を訴えていくべきなのかを知り、市議会のすべき事や方向性を見出していくことを目的としています。



9月定例会

9月2日～10月4日(33日間)

9月2日(初日)

・認定第1号、議案第50号

・決算委員会に付託

・議案第51号～議案第69号

・提案理由の説明

9月4日

・議案第51号～議案第69号

・質疑の後、各常任委員会に付託

9月5日

・総務委員会

・教育民生委員会

9月6日

・都市環境委員会

9月12日

・諸般の報告

・議案第51号～議案第69号

・常任委員会委員長報告

・諮問第2号

・提案理由説明、質疑、討論、採決

・一般質問

・一般質問

・一般質問

・一般質問

・一般質問

・一般質問

・一般質問

・9月19～20日、24～26日

・決算特別委員会

10月4日(最終日)

・決算特別委員会委員長報告

・議案の討論・採決

・意見書案第2号

・議員派遣第3号

議案の内容

▼認定第1号 平成30年度丸亀市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について

平成30年度一般会計及び各特別会計に係る歳入歳出決算について議会の認定に付すもの。

▼議案第50号 平成30年度丸亀市モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算の認定について

平成30年度モーターボート競走事業会計に係る歳入歳出決算について議会の認定に付すもの。

▼議案第51号 令和元年度丸亀市一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億465万4000円を追加し、予算総額を509億3857万2000円とする。主な内容は、マイナンバーカードを活用したプ

レミアム付自治体ポイント事業の実施に向けた臨時職員賃金232万6000円など。

▼議案第52号 令和元年度丸亀市介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ2億199万9000円を追加し、予算総額を91億6497万9000円とする。主な内容は、地域密着型介護サービス費を720万円減額し、地域密着型介護サービス給付費を600万円増額など。

▼議案第53号 令和元年度丸亀市モーターボート競走事業会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ6237万5000円を追加し予算総額を758億3275万6000円とする。主な内容は、BTS朝倉仮設販売所に係る設備工事費4950万円を増額するなど。

▼議案第54号 丸亀市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

▼議案第55号 丸亀市会計年度任用職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の制定について

法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、従来の臨時・非常勤職員に関する制度が会計年度任用職員制度に移行するため。給与や費用弁償、勤務時間などについて新たに定め、関係条例について所要の改正を行う。

▼議案第57号 成年被後見人等権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、関係条例の改正を行う。

▼議案第58号 丸亀市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

災害援護資金の償還に関する条例を改正する。

▼議案第59号 丸亀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部改正について

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴

意見書

令和元年10月4日付にて「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」を国の各関係機関へ送付しました。

い、連携施設の確保に関する条例を改正する。

▼議案第60号 丸亀市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準に伴う条例を改正する。

▼議案第61号 丸亀市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担等に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、引用箇所を改正する。

▼議案第62号 丸亀市印鑑条例の一部改正について

住民基本台帳法施行令の一部改正に伴い、印鑑登録証明書への旧氏平氣を可能とするため、条例を改正する。

に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、関係条例の改正を行う。

▼議案第64号 丸亀市手数料条例の一部改正について

消費税及び地方消費税の引き上げにより、危険物貯蔵所の設置の許可の申請に係る審査手数料が引き上げられることに伴い、手数料額を改定する。

▼議案第65号 66号 工事請負契約の締結について

丸亀税務署庁舎新築工事、丸亀市離島情報通信基盤整備工事に関する請負契約を締結する。

▼議案第67号 68号 物品の購入について

消防ポンプ自動車、高規格救急自動車を購入する。

▼議案第68号 字の区域の変更について

綾歌町栗熊西地内の圃場整備施行により、従前の字界であった農道・水路が原型を留めなくなったため、新字界を定める。

令和元年9月定例会

賛否が分かれた議案の審議結果

議員名 ()内は所属会派	議案名	審議結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
			武田 孝三(志政会)	竹田 英司(会派無所属)	東 由美(会派無所属)	中谷真裕美(会派無所属)	神田 泰孝(会派無所属)	岡田 剛(会派無所属)	大西 浩(市民クラブ)	香川 勝(志政会)	三宅 真弓(会派無所属)	川田 匡文(志政会)	真鍋 順穂(志政会)	松永 恭二(志政会)	多田 光廣(会派無所属)	横田 隼人(志政会)	小橋 清信(志政会)	横川 重行(市民クラブ)	松浦 正武(市民クラブ)	加藤 正貞(市民クラブ)	山本 直久(志政会)	大前 誠治(志政会)	福部 正人(公明党)	内田 俊英(公明党)	水本 徹雄(市民の声)	国方 功夫(市民の声)	片山 圭之(市民の声)
認定第1号	平成30年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定	原案認定	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	平成30年度 モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算認定	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	令和元年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対です。

※上記以外の議案はすべて全会一致で原案を可決しました。

一般質問

15人の議員が市の考えを問う

各議員からは複数の質問がなされていますが、その中から左記の項目の質問内容を掲載しています。

武田 孝三

子どもたちのスクール・ゾーン、キッズ・ゾーンの設定と推進

香川 勝

西長尾城及び栗隈城

加藤 正員

虐待に対し、できることは

小橋 清信

社会教育行政と機構改革

国方 功夫

クリントピア東の市の敷地

真鍋 順穂

高齢者の運転免許証自主返納

支援事業の拡充と高齢者福祉

的見地からの交通移動手段の確保

横川 重行

環境対策等

福部 正人

風しん予防接種費用の助成

川田 匡文

「買い物難民」救済を求める

山本 直久

ボートレースまるがめファン獲得

横田 隼人

市民会館

中谷真裕美

災害時避難が困難な方への支援確立を地区防災計画とともに

神田 泰孝

ニッカリ青江を使った丸亀城

石垣復興への有効活用

三宅 真弓

プラスチックごみ

東 由美

少子化対策として



スクールゾーン・キッズゾーンの定着化に向けて

Q



武田孝三議員



スクールゾーン

相次ぐ交通事故の発生を受け、未就学児童や高齢運転者などの交通安全緊急対策が決定した。国はスクールゾーンの設定を推進し、交通安全対策につなげることとしているが、本市での取り組みは。



A

教育部長 未就学児を中

心に、子供が日常的に集

団で移動する経路の安全確保に

ついて既に調査・点検を行い、

可能な対策から着手できるよう

進めている。また、スクールゾ

ーンは幼稚園・小学校を中心と

する半径500メートルの範囲

内で設定しており、登下校の時

間を中心に車両の通行禁止や速

度規制を行っている。7月に全

国で初めて設置されたキッズゾ

ーンは、スクールゾーンでは規

制の対象とならない園外活動の

時間も含めて想定しており、該

当の園や保育所から設置の要望

があれば、協議の上、調査・研

究したい。

西長尾城・栗隈城に 文化財的価値を

Q



香川 勝 議員



西長尾城跡

西長尾城や栗隈城は、讃岐を代表する著名な山城として市のホームページでも紹介されている。これらが国指定史跡となれば、本市は古代・中世・近世の城跡が揃うことになるが、指定に向けた市の考えは。



A

教育部長 各時代の国指

定史跡の城跡が揃うことは、限られた市町村にしか達成できないことであり、実現すれば大変貴重な財産となる。また、本市は、貴重な城跡が立地した交通の要衝として非常に重要な土地であったことが分かり、丸亀城と同様に郷土学習の

教材としての価値も高まり、市民の郷土愛につながっていくと思われる。しかし、国や県の指定を受けるには、西長尾城の一部が存在するまんのう町との協議や、測量図、総合調査報告書の作成、申請手続きなどを行わなければならないため、相当な時間を要すると見込まれる。

家庭児童相談室の 現状とこれから

Q



加藤正員 議員



家庭児童相談室

虐待から子供を守ろうとすると、その支援にかかわる場所としていろいろな機関や会議が設けられている。その中でも入口となる家庭児童相談室は、県や警察へつなぐ場合においても大変重要な機関であると考えられるが、その具体的な役割と今後の人員増、スキルアップなどについて見解は。



A

市長 家庭児童相談室は

児童虐待の初期、軽度の段階の事案に対応し、事態の重篤化を未然に防止するという非常に重要な役割を担っており、具体的には要保護児童対策地域協議会を運営し、支援の具体的な方針を決定すること、子育て

家庭からの相談に応じ、家庭訪問や面会、必要に応じて助言することなどを主な役割としている。人員については、今年度2名の有資格者を増員しており、今後も適切な構築と研修などを通じて資質の向上を図ってみたい。

子ども会・婦人会をもっと元気に!!

Q



小橋清信議員

国の教育再生会議では、家庭教育の低下を補うためには、学校や地域との連携が不可欠であるとしているが、地域からは急速に子ども会や婦人会が消えている。この原因は、地域住民の考え方や人口減少だけなのか。現在の活動内容と想定される原因を伺う。



子ども会の活動

A

生活環境部長 各団体の主な活動内容は、単位子

ども会が地域内行事への参加、子ども会育成連絡協議会は七尾市や京極町の子ども会との交流事業、婦人会は敬老行事の運営など福祉貢献活動、婦人団体連絡協議会は広報活動や親善都市

の特産品販売への協力支援がある。また、組織や加入者の減少は、人口減少のほか、核家族化や共働き世帯の増加、複数の習い事など、子どもを取り巻く環境の変化や保護者の意識の変化が原因と考えている。

土器町の地盤沈下 信憑性と危険度は

Q



国方功夫議員

クリントピア丸亀東側の市有地を石垣修繕のための石の仮置き場とすると、地盤沈下の恐れがある、とする資料がある。これが事実であれば、正式に認められた場所で埋め立てを行い、なぜこのようなことになるのか。この資料の根拠を明示いただきたい。



クリントピア丸亀東側 市有地の現状

A

市長 この土地は平成5年度まで、土器塩田跡を

利用して一般廃棄物の埋立て処分を行ってきた土地である。先般、丸亀城石垣の崩落に伴う石の仮置き場として検討するに当たり、香川県中讃保健福祉事務所の環境管理室を訪問し、法的

な制限や必要な措置について確認をした。その内容を踏まえ、重い石を大量に置いた場合、土壌内の状態が不明であること、また石の設置が数年間にわたることも考慮し、地盤沈下により周辺に影響が及ぶ可能性も否定できないと判断した。

コミュニティバスの 拡充と路線見直しを

Q



真鍋順穂議員



コミュニティバス停留所

地域拠点として常時活用されている公共施設への移動手段確保と、コミュニティバスの普遍的利用促進のため、小型マイクロバスを導入し、ネットワークの良い公共移動手段とすること、また運行路線内での乗降の自由化について市の見解は。



A

生活環境部長 今年度から福祉部門で、地域での移動手段確保モデル事業を実施するとともに、デマンド型乗合タクシーやカーシェアリングなど新しい取り組みについても検討しては、例年の軽微な変更に加え、10月から綾歌宇多津線の綾歌保健センター南、向山交差点から湯舟道までの区間において、試験的にフリー乗降を導入する予定であり、今後とも利用者の利便性向上を図っていきたい。

生活環境部長 今年度から福祉部門で、地域での移動手段確保モデル事業を実施するとともに、デマンド型乗合タクシーやカーシェアリングなど新しい取り組みについても検討しては、例年の軽微な変更に加え、10月から綾歌宇多津線の綾歌保健センター南、向山交差点から湯舟道までの区間において、試験的にフリー乗降を導入する予定であり、今後とも利用者の利便性向上を図っていきたい。

保育所や学校の 食品ロスは

Q



横川重行議員



市内小学校の給食配膳室

日本の食品廃棄物は年間2759万トン、そのうち食べられるのに捨てられている食品は、年間643万トンと推測されている。保育所や学校給食での食品ロス、残渣の現状と削減方針は。



A

生活環境部長 昨年度の残渣率は、中央学校給食センターが幼稚園2・8%、小学校5・1%、中学校4・2%、第二学校給食センターが幼稚園1・0%、小学校4・2%、中学校7・3%、飯山学校給食センターが幼稚園4・1%、小学校1・6%、中学校2・1%、本島学校給食センターは小・中学校とも0%となつ

生活環境部長 昨年度の残渣率は、中央学校給食センターが幼稚園2・8%、小学校5・1%、中学校4・2%、第二学校給食センターが幼稚園1・0%、小学校4・2%、中学校7・3%、飯山学校給食センターが幼稚園4・1%、小学校1・6%、中学校2・1%、本島学校給食センターは小・中学校とも0%となつ

ている。保育所は数値での管理をせず、日々数量を調整することで残渣量を抑制している。また残渣率削減は、食べ残しの多い献立は味付けや見栄えの改善を行う、給食時間に献立の狙いなどについて校内放送を行うなど、給食がで上がるまでの過程や食材への関心を高めることで食べ残しを減らすよう努めていく。

風しん予防接種費用を 助成対象に

Q



福部正人議員



誰もが予防接種を受けられるように

全国で風しんが流行している。県では抗体検査は無料で行うものの、妊娠を希望する女性やその配偶者、風しんの抗体の低い妊婦の配偶者などが予防接種を受ける場合は実費負担となる。この費用を助成することは、希望者の負担軽減だけでなく、市民の健康を守ることになる。と考えるが、市の見解は。



A

市長 妊婦が妊娠初期の風しんウイルスに感染すると、先天性風しん症候群と呼ばれる先天性の心臓病、白内障、聴力障害、発育・発達遅滞などのある子供の生まれる可能性が非常に高くなる。県は妊娠を希望する女性やその配偶者な

どを対象に風しん抗体検査を無料で受けられる事業を行っているが、予防接種の勧奨を行うのみであるため、安心して妊娠や出産するための支援策として、予防接種費用の助成を検討していきたい。

『買い物難民』 救済を！

Q



川田匡文議員



JR丸亀駅北側唯一のスーパーマーケット

買い物に困難を抱えた地域がある。これまで自転車や徒歩で買い物をしてきた市民が、タクシーやバスに乗らないと購入先へ行けない。不便をきたす利用者の要望に沿うためにも、路線、時刻や停留所について、きめ細やかで親切心あふれる運行の改正を求める。



A

市長 将来的に持続可能な公共交通のあり方を示す「丸亀市地域公共交通網形成計画」策定に向け、高齢者運転免許返納者を対象とするアンケート調査や、運行事業者によるバス調査、さらに各コミュニティでの意見交換会なども行い、

市民の実態やニーズ、地域の見などを十分に把握したいと考えている。これらのデータをもとに本市公共交通網のあるべき姿を実現するための計画を策定し、路線や停留所、時刻の見直し、また新たな移動手段なども視野に入れ、検討したい。

ボートレースまるがめ 新しいファンの獲得を

Q



山本直久議員



ふれあい広場

「もっと愛されるレース場に」と様々なイベントが展開されているが、来場者の中には「舟券の購入方法が分からない」という声がある。イベントを催す目的は、ファンを増やし舟券を購入して貰うことのはずだが、そのためのアイデアは。



A

ボートレース事業局次長

現在は、初心者向けの各種パンフレットの準備や舟券購入をサポートするスマイルキヤストを場内各所に配置している。また、婆娑羅まつり花火大会当日の模擬レース「婆娑羅カップ」の開催や、レースの迫力

を体験できるペアボート試乗会など初心者向けのイベントも行っている。今後、他場の例も参考にしながら、ホームページや場内掲示だけでなく、効果的なPR方法の1つとしてSNSや動画サイトを活用していきたい。

新市民会館 建設計画は

Q



横田隼人議員



新市民会館建設予定地

市長の選挙公約である「新市民会館建設」は、令和3年度に着工、令和5年度に完成と説明があったが、保育施設との調整なども踏まえ、建設場所とスケジュールを改めて伺う。



A

市長 整備スケジュール

は、保育施設などもあるため、市民生活への影響を十分に加味しながら、細かい点や順序、スケジュールなどを検討していく必要がある。時期の目途は2023年、令和5年完成予定に変わりはない。完成に向け

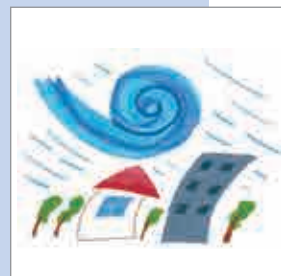
て、各施設の移転や整備、解体など細かい調整をしていく。また、保育施設は今後のあり方について議論はあるが、保護者会を含め十分検討を行い、基本構想とそごを来さないよう進めていきたい。

災害時避難が困難な方への支援確立を 地区防災計画とともに

Q



中谷真裕美議員



まず 命を守る選択を

①東日本大震災の教訓から、災害時に避難が困難な「災害時避難行動要支援者」の名簿を作ることが自治体に義務付けられ

た。本人同意を得て平常時から自主防災組織などに名簿提供をし、支援体制を整えてこそ実効性が伴うと考えるが、本市の取り組みは。②かねてから策定を求めているコミュニティごとの「地区防災計画」を作る過程で避難が困難な方への具体的対応が定まると思うが、地区防災計画策定状況は。



A

健康福祉部長 本年9月

現在で「避難行動要支援者」名簿の対象は2902名であるが、情報提供の同意率は56%である。同意をされた要支援者の名簿情報は各コミュニティ、自主防災組織、自治会、民生児童委員に提供しており、これにより、平常時からの訪問など避難支援体制が進んでいくと

考えているが、名簿登録者の大部分が避難時の支援者を登録されておらず、今後も先進事例を参考に、必要な支援・調整を図っていく。②現時点では「地区防災計画」策定地区はないが、本年度2地区において計画提案がなされている。各コミュニティに策定を促し、7防災計画の推進を図る。

ニッカリ青江マンホールで まちおこしを！

Q



神田泰孝議員



丸亀城とうちわのマンホール

マンホール蓋のデザインがブームとなっている。このデザインにニッカリ青江を使用することで、このブームのきっかけとなったマンホールカードやグッズを作成することができ、観光客獲得や下水道のPR、石垣修復費の助けとなると考えられるが、市の見解は。



A

都市整備部長 マンホー

ルカードの作成には約1年を要するため、カードができるまではニッカリ青江マンホール蓋を（仮称）石垣復興PR館に展示し、カード作成後は、城内に設置することで、ニッカリ

青江ファンとともにマンホールを城内へ呼び込むことのできる仕掛けになると考える。この活用案を、観光面や石垣復興に寄与できるものとし、石垣崩落対策本部へ諮りたい。

環境汚染防止 個人の意識改革を

Q



三宅真弓議員

ポイ捨てなど環境汚染を招くプラスチックごみの処理に関し、自覚を促す啓発が行われるべきだが、市の考えは。



なくなるプラスチックごみ

A

生活環境部長 消費者が

新たな汚染の加害者とならないよう、ポイ捨てや不法投棄など心ない行動を抑制することが何より重要である。広報での呼びかけや市役所内でのパネル展示、プラスチックごみが環境に与える影響やごみ拾いの重要性を伝える環境イベントな

ど、市民の環境意識を高める活動を進めていきたい。また、陸

域や河川に排出されたごみは、地元の住民や企業の協力も得ながら一斉清掃をするなど、海への流出を防止するとともに、社会全体で取り組む意識の醸成に努めていきたい。

ヘルスリテラシーの 向上を目指して

Q



東 由美議員

身体の発育やその仕組みは現在も学習しているが、特に女子児童・生徒は、体の変化や不調についての相談をしづらいのではないか。月経痛は病気として、小中学生であっても早期の対策や受診をすべきである。正しい知識を得る機会を逸することなく、必要な対策や受診を促す環境、相談体制は。



市内小学校の保健室

A

教育長 学校では月経の

仕組みについて、体の中で起こる大切な変化であること伝え、正しい知識の習得に努めている。また、思春期の心と体の相談を受けた際の適切な対応が女子の大きな体調の変化を救済すると考え、養護教諭が専

門的な見地から児童・生徒に寄り添い、共感的にアドバイスができる体制を整えている。今

後、健康課とも連携し、児童・生徒、保護者に対しても女性の健康づくりについて啓発していきたい。

委員会審査

各委員会の議案審査では、次のような質疑応答がありました。

総務委員会

■審査した議案

議案第51号中の関係部分、議案第53号、議案第54号、議案第55号、議案第56号、議案第57号、議案第63号、議案第64号、議案第67号、議案第68号

主な質疑

Q 委員 消防救急デジタル無線損害賠償金について、公正取引委員会からの排除措置命令及び課徴金納付命令から今回の請求までに期間を要した理由と納付時期は。

A 市長公室 実際の損害額を調査し確定するために時間を要した。賠償金請求を行い、今年中に納付される見込み。

Q 委員 現在の臨時・非常勤職員のうち、会計年度任用職員へ移行する人数と、制度移行に要する費用の財源は。

A 市長公室 4月時点の臨時・

非常勤職員717名のうち

700名程度は会計年度任用職員として採用する必要があると考える。また、財源については、未だ国からの明確な説明がないため、現時点で交付税措置などの財源について説明を行うのは難しいが、今後も国に対し、財源措置を要望していく。

審査結果

付託された10議案は、すべて原案を承認とした。

教育民生委員会

■審査した議案

議案第51号中の関係部分、議案第52号、議案第58号、議案第59号、議案第60号、議案第61号

主な質疑

Q 委員 介護保険特別会計の補正について、地域密着型介護サービス給付費を減額し、介護予防サービス費を増額する理

由は。

A 健康福祉部 要支援者2名のグループホーム入居に際し、必要な予算を増額するとともに、要介護者の入居と見込んでいた予算を減額するもの。

Q 委員 公立園の給食においては副食費の実費相当額を、給食の質を落とすことなく国の基準額近づけるよう工夫するのとこのだが、具体的な方法は。

A こども未来部 季節行事などで提供される特別な食材の見直しを含め、栄養価など給食の質を下げずに費用を削減する。

討論（議案第59号・60号）

国の基準にあわせた条例改正は、将来的な保育の質の低下に繋がる。経過措置の必要のない本市は条例改正をしないという姿勢を示すべきであり、議案に反対する。

審査結果

議案第59号、60号については挙手採決の結果、いずれも賛成多数により原案承認、残る4議案についても、採決の結果、すべてを原案承認とした。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第51号中の関係部分、議案第62号、議案第65号、議案第66号、議案第69号

主な質疑

Q 委員 丸亀税務署庁舎新築工事に関する工事請負契約の締結について、進入路や景観との調和に不都合はないか。

A 都市整備部 壁面の色に関しては税務署からの要望に沿っているが、城下町としての景観には配慮している。進入路についても安全面と利便性を考慮し、設定した。

Q 委員 印鑑証明書への旧氏併記のメリットは何か。

A 生活環境部 婚姻などで氏が変わった後であっても従前の実印を使用することができると、住民票やマイナンバーカードにおいても旧氏を使用できることなど。

Q 委員 離島情報通信環境整備工事に関する資料において、Wifi対応予定地となつて

いない地域にも民家は存在するが、その対応は。

A 生活環境部 加入を希望する住民に対しては、個別に宅内への引込み工事などを行い対応

質疑

プレミアム付

自治体ポイント

Q 中谷議員 消費増税による負担感の大きい低所得者への配慮はどうなっているか。また、対象が13%ほどの個人番号カード保持者など、消費活性化策としては限定的すぎるが、消費増税対策としての活用見込みは。

A 市長公室長 低所得者への配慮はプレミアム付き商品券事業で一定なされている。この事業は、現時点では事業の根幹部分が未定であり、消費増税対策としての活用見込みも見通せない状況であるが、消費の下支えになると期待し、取り組んでまいりたい。

給食費無償化

Q 大西議員 国の制度では3歳

する。

審査結果

付託された5議案は、すべて原案承認とした。

から5歳までの給食費と一部の世帯の副食費のみが無償化の対象である。市は独自に全額補助する提案をしているが、実際どう変わるのか。

A ことも未来部長 3歳から5歳児のうち、1号認定児については現行210円の実費徴収から全額不要に、2号認定児については現行800円徴収から全額不要に変更、3号認定児については全額不要のまま。私立園利用の場合は、食費800円と副食費4500円をあわせた5300円を上限に、園に対して補助することで保護者の軽減につなげてまいりたい。

会計年度任用職員

Q 大前議員 会計年度任用職員制度導入に際し、支給される手当の種類と来年度の採用数を職

種別に明示していただきたい。

A 市長公室長 総務省の基本的な指針に基づき、フルタイム職員には時間外勤務、宿日直、休日勤務、夜間勤務、通勤、期末及び退職手当、パートタイム職員には期末手当のみを支給し、通勤費や時間外勤務については費用弁償などにより相応の報酬を支給することとなっている。

討論

《反対討論》 中谷真裕美

認定第1号「平成30年度丸亀市一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について」に反対

理由 市民の利便性・有益性よりもマイナンバーカードの普及や業務の民間委託そのものが目的化している。

議案第50号「平成30年度モータースポーツ競走事業会計利益の処分及び決算の認定について」に反対

理由 次世代ファンの獲得という経営方針には、ギャンブル依存症防止や青少年健全育成の観点から賛成できない。

議案第51号「令和元年度丸亀市

また、現在在籍している臨時非常勤職員（事務補助職員149名、保育士・幼稚園講師など227名、調理員60名、調理員以外の技能労務者79名、その他の専門職202名）の大部分が移行するものであるため、約700名程度の採用を予定している。

一般会計補正予算（第2号）」に反対

理由 事業内容も定まらず、消費増税対策ともいえない制度に多額の税金を投入する方針に反対

議案第59号「丸亀市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する条例の一部改正について」

理由 3歳以上児の受け入れ先となる家庭的保育事業との連携ができていない本市においては、むしろ保育の質を下げる改正であるため反対

決算特別委員会

認定第1号、議長、監査委員を除く23名の議員によって構成された決算特別委員会で審査されました。

Q 委員 平成30年度モーターボート競走事業会計利益の処分及び決算の認定について、観光協会連携事業として、

海外観光客の来場促進を行っているとのことだが、海外の旅行代理店などへの働きかけは。

A **モーターボート競走事業部** 香港、タイでの商談

会に参加し、外国人向けの誘致活動を行った。その後、旅行会社のモニターツアー3件、台湾のブローカー1件の来場をいただいた。

Q 委員 小児生活習慣病予防健診で指導や受診が必要と判定された児童・生徒の人数と原因は。

A **教育部** 要指導・要受診となった児童・生徒数は249名。原因を特定することはできないが、小学4年生を対象に実施したアンケート調査

によると、近年は肥満につながる早食いや運動をしない子どもが増えている傾向にある。引き続き健康課とも連携しながら、生活習慣の改善の指導を行いたい。

Q 委員 特定空き家となっている空き家は何軒あるか。放置され、危険と思われる空き家が存在しており、市民は不安であるが、対応に何年かかるのか。勧告、代執行などを行う考えは。

A **生活環境部** 現在、特定空き家はない。放置された空き家は、審査会を経ての認定となるため、相手方との協議を続け、できる限り早期に解決したい。

Q 委員 公衆便所清掃委託料及び管理経費は有効な支出と言えるのか。近隣施設の

状況等を確認し、早急に対応すべきではないか。

A **生活環境部** 施設や管理のあり方については、継続や統合など検討を加え、次年度予算において対策を講じたい。

Q 委員 庁内ネットワーク業務等の専門的な技術に精通した職員の増員・育成を挙げているが、今後A-やICTを活用する考えは。

A **総務部** 今後の地方公共団体は業務の複雑化や高度化、市民からの多種多様な意見への対応が求められるため、現行業務に対し、RPAやAI、ICTの活用について検討していく。

Q 委員 投票行動に結びつくための啓発や、投票率向上に向けた商業施設での期日前投票、移動投票などの考えは。

A **選挙管理委員会** 年代別投票率の分析を行っているが、他にも啓発に結びつく分析ができないか確認する。商業施設での投票所開設や移動投票所は、高齢者の移動手段とも合わせて調査研究していく。

Q 委員 育児休暇や長期病

Q 委員 育児休暇の取得状況と、若年層の離職防止に向けた取り組みは。

A **市長公室** 市全体の育児休暇取得者は44人、うち保育士・幼稚園教諭27人。長期病

気休暇取得者は12人、うち保育士・幼稚園教諭7人。新規採用者には担当課で面接などを実施し、離職防止に取り組んでいく。

Q 委員 商店街施設整備事業について、中心市街地がシャッター化していることについて、今後どのような取組みを考えているか。

決算特別委員会 委員長報告



A 産業文化部 商工会議所
や民間団体と連携をとり

ながら、商店街活性化に向けて努力していく。空き店舗・空きオフィス等活用促進補助金も安定した利用があり、平成27年度から現在までに13店舗が追加出店している。今後も継続して取り組んでいく。

Q 委員 農地に関する活動について、遊休農地が昨年度より増加している現状を踏まえ、今後どのような対策をとっていくのか。

A 農業委員会 農地パトロールを行い、農地中間管理機構への貸付や非農地と判断された土地の地目変更を促すなど、指導を行う。

Q 委員 平成30年度4月から一定の条件を満たす生活保護受給者にエアコンの購入及び設置費が支給されるが、その周知と設置件数は。また、対象にならない世帯に対する支援は。

A 健康福祉部 平成30年8月に調査を行い、エアコンを所有していない111世帯

に制度を周知した。設置件数は2世帯。今後、対象外となった世帯についても、対象とできるよう県を通じて国へ要望していく。

Q 委員 乳幼児健康診査の未受診者に、虐待を警戒する意味でも何か対策をとっているか。

A 健康福祉部 未受診者は全て把握し、訪問や電話連絡をとっている。保護者との電話連絡のみの場合は、保育所・幼稚園に問合せを行い、必ず子どもの所在を確認するようにしている。



決算特別委員会

Q 委員 昨年度の事業評価として、『資金運用について、确实かつ有利な方法により、安定的に運用を行った』とあったが、具体的な内容は。

A 会計課 各金融機関とも低金利の中、昨年の夏頃は債権の利率が0・6%と非常に良かったため、丁度満期を迎えていた資金で20年満期の商品を購入し、少しでも利率の良いものの運用を考えている。

Q 委員 雑居ビル等の防火対象物立入検査の結果は。

A 消防本部 昨年度は、例年と比べて100件多い321件の立入検査を行い、消防用設備が付いていないところを中心に指導している。なお、一定の防火対象物については定期点検報告を義務付けており、昨年度の報告率30%に比べ、今年度は50%と改善されている。今後も、継続して取り組むたい。

Q 委員 学校におけるAED及び心配蘇生法の指導状況は。

A 消防本部 小学校1校と、中学校は東中学校、飯山南中学校の2校、高校は丸亀高校、丸亀城西高校及び飯山高校総合福祉学科の3校において救急指導を行った。

Q 委員 道路補修事業費の詳細は。

A 都市整備部 路側・側溝補修工事等86件で約5250万円、舗装補修工事78件で約5790万円、緊急措置工事14件で約199万円であった。

Q 委員 公立保育所での一時保育や延長保育を充実させる考えは。

A こども未来部 一時保育は、今後増やしていきたい。延長保育は、保育士の人員増を要するため検討したい。

Q 委員 家庭児童相談室にひきこもりに関する対応などの役割はあるのか。

A こども未来部 子どもの発育や子育て、不登校に関する相談業務があり、その中にひきこもりに関する相談が含まれている。

委員会視察

総務委員会

7月
1~3日

和歌山県橋本市
静岡県浜松市
ボートレース浜名湖
大阪府箕面市

RPA・AI・OCRによる窓口改善

橋本市では、職員数の削減、業務量の増加、近年の働き方改革などの背景から、RPA・AI・OCRを活用することにより、限られた人材でいかに効率的に業務をこなすかということに主眼を置き、事業を実施しています。

市職員の環境が厳しくなる中、RPA・AI・OCRの有効活用が大変重要であると感じました。

消防団を中核とした地域防災との連携

浜松市では、地域防災力の充実強化として、地域住民や自主防災組織と行う合同訓練、少年消防クラブの育成・指導、地域住民への防火意識の普及啓発活動を行っています。

少年消防クラブの育成など、小さい頃から防災・防火教育を行うことはとても大切であると思いました。

人事・給与構造改革の概要

箕面市では「頑張った職員には報い、頑張らない職員には一切「報いない」をコンセプトに、責任と処遇を一致させる給料表の導入や、従前の年功序列型による公務員制度の枠にとられない新たな人事・給与制度を構築しています。

市職員が各々の能力を発揮するためにも、努力に見合う評価制度を導入することは有効であると感じました。



教育民生委員会

7月
22~24日

神奈川県大和市
東京都世田谷区
神奈川県海老名市

高齢者おでかけ事業

大和市の地域乗合交通創出支援事業「のりあい」は、コミュニティバスが運行できない地域に導入された、ボランティアによる無償運行バスです。

バスには乗降を補助する添乗員がおり、「常連さん」への福祉的效果も生まれています。

また「高齢者おでかけ支援事業」として、高齢者が利用登録を行えば、通院用送迎車の空席を利用できるという取り組みも行っています。しかし、ボランティアの高齢化や人員確保など課題も多く、一部はバス事業者による運行に変更となりました。

子ども条例と「せたホッ」と

世田谷区は、国の「子どもの権利に関する条約」批准を機に「子どもを取り巻く環境整備プラン」を策定し、子供を含め幅広い意見聴取を行い、子供の人權擁護と育成に取り組んでいます。

海老名市内の中学校では「海

海老名市部活動方針

老名市部活動方針」に基づいて部活動が実施されています。

この方針は、行き過ぎた部活動が生徒・保護者・教職員の負担となっている現状を踏まえて策定されており、外部指導員の制度を整備するなど、現場からは概ね好意的に受け止められているそうです。

さらに、部活動指導と医療の連携を図り、怪我の予防や休養の大切さを各学校で講演するなどの取り組みも行っています。



都市環境委員会

7月
8~10日

福岡県大牟田市
北九州市
福岡市

街なかの賑わい創出

大牟田市では中心市街地活性化基本計画を策定し、街なかストリートデザイン事業を展開しています。同時に、新規創業融資資金などの創業支援や保健課考案の「ウォーキングアプリ」を活用した、商店街内での健康づくりなど、民間の活力と情報を積極的に共有し、財源確保や施策のパッケージ化に繋がっています。

枝光やまさか乗合タクシー

北九州市では「集約型の都市構造の形成」「階層構造の拠点形成」「交通網ストックを生かした交通軸形成」を軸に拠点機能や交通の利便性を生かしつつ、住宅や生活支援施設をコンパクトに集約した都市構造を目指しています。

おでかけ交通事業に関しては、生活道路の幅員が狭く、交通弱者が多い枝光地区では、1日62便、5ルートを行き通っており、利用者・商店街・交通事業

者の三者による民活・生活・交通の循環環境が整っていました。

消化ガス発電

中部水処理センターでは下水処理によって発生する消火ガスの有効利用を行っています。中でも消火ガス売却事業では民設民営により事業を実施しており、その売却益は平成30年度で約1億円となり、今後は消化ガス発電から消化ガス売電への切り替えに注力し、収益アップや官民連携による推進を行っていますとのことでした。



広報広聴委員会

7月31日
~8月2日

栃木県矢板市
那須塩原市
足利市

議会だより

矢板市の議会だよりは「面白そう!」「可愛い!」など感情に訴えかけるデザインを重視し、文字よりも写真・イラストを重視しています。また「議会だよりは市民に読んでもらえない」という現状を意識し、写真を多く掲載するなど、読者目線で分かりやすいものを目指していました。

また、那須塩原市では「読みやすさ」を重視しており、右→左開き、縦→横書きなどの変更だけでなく、スマホ用アプリを活用するなど、本市でも実施可能な試みが多数あり、参考になりました。

出前授業・意見交換会

足利市ではフリートークでの意見交換会を行っていました。が、一部の発言に終始することが多くなってきたため、現在はグループ分けなどの環境整備を行って開催が続いています。



また、高校生や大学生とワークショップ形式で都市景観や観光について話し合ったり、中学校へ「出前授業」という形で出向き、クラスごとに「市議会の仕組み」の説明や討議を行い、地方議会への興味・関心を高めてもらえよう取り組んでいました。

今後はこれらの内容を踏まえ、議会が「書きたい」「伝えたい」ことばかりでなく、市民の皆さんが「読みたい」「知りたい」ことに注目して、活動の改善に取り組んでいきます。



笠岡市へ行ってきました

～都市環境委員会～



前号の議会だよりでもご紹介した「石の島」のストーリー「知ってる!?悠久のときが流れる石の島～海を越え、日本の礎を築いたせとうち備讃諸島～」が日本遺産に認定されたことを受け、都市環境委員会委員ほか議員15名で、笠岡市の北木島、真鍋島へ視察研修に伺いました。

お天気にも恵まれ、さわやかな海風を浴びながら、まずは北木島・金風呂港へ。

港では松浦副市長をはじめ笠岡市職員の皆さん、地元の石工の皆さん、そして北木島の住民の方々が大きな横断幕を手に出迎えてくださいました。

まず手作りの旧映画館「光劇場」で、石と共に生きてきた島の方々の映画を鑑賞。手作業で石を切る重労働に耐えるため、家で待つ妻を想い、家族を思い、歌われる石切歌には大いに胸を打たれました。また、地元の石材屋さんが作られた「石切りの溪谷の展望台」は、写真に入りきらないスケールの大きさ！想像以上の高さ(深さ?)に展望台の上では研修であることを忘れて「揺らすな～!」と腰が引ける私たち…。

山道を下ると、正面は海。気持ちよく山道と北木の町並みを歩いた後は、穏やかで温かい北木島のお母さんたちと、お忙しい中駆けつけてくださった大月副議長に見送られ、次の目的地、豊浦港へ。

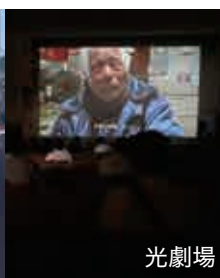
同じ北木島でも趣の違う豊浦港から歩いて5分の場所には「K'sLABO」があります。ここは「石の博物館」。カフェや石の加工品販売、電動アシスト自転車のレンタルなど観光客へのサポートも行っています。

最後に向かったのは真鍋島。明治3年に建築された真鍋家住宅や、趣のある外観の真鍋中学校を見学しました。ここを学び舎としている中学生たちの写真や作品もたくさん掲示され、古き時代の面影が今も息づいている、素晴らしい空間だと感じました。

笠岡、丸亀、小豆島、土庄…それぞれの形はあれ、石と共に生きてきた人々の心はどこかつながっているように感じます。これからも石が支えてくれた島の生活を重んじ、この文化を絶やさぬよう連携を図っていければと思います。



金風呂港にて



光劇場



石切りの溪谷の展望台



真鍋中学校

編集後記

「令和」の発表から約半年が過ぎ、少しずつではありますが、新元号も馴染んできたのではないだろうか。昭和、平成、令和と移りゆく時代の中で、丸亀市議会も、今まで以上に進化が求められています。

今年度は、5月に開かれた丸亀高校の生徒の皆さんとの意見交換会に続いて、9月定例会からは議会運営のスマート化、議論の深化を目的にタブレット端末機を導入しました。

高校生との意見交換。タブレット活用の方は、まだまだ広がる余地があります。時代の移り変わりと共に、議会のあり方が問われますが、歴史は次代へ紡ぎつつ、変化を恐れずに、丸亀へ還元できるように議員全員で一丸となって進めていきたいと思っています。

広報広聴副委員長

神田泰孝